

あゆみ荘 だより

◆チア教室を開催！

去る二月十七日(土)、プロバスケットボールBリーグ『横浜ビー・コルセアーズ チアリーダーズB-ROSE(ビーローズ)』から四名を講師に迎え、余暇活動支援事業『障害のあるお子さんのためのチア教室』を開催しました。



みんなでアイ・ラブ・ヨコハマ

チアリーダールのデモンストラーションダンスでスタートした教室は、チアダンスの基本

的な動き方を学んだ後、チアダンス「アイ・ラブ・ヨコハマ」を練習しました。チアリーダールの優しく丁寧な指導により、最初は緊張した面持ちだったお子さんたちもすぐに体がほぐれ、最後は練習した「アイ・ラブ・ヨコハマ」を見事に踊れるまでに上達し、ご家族の皆さんとともに盛り上がった楽しい時間となりました。

◆あゆみ荘総利用者 百四十万人を迎える

横浜あゆみ荘は、昭和五十九年十一月開所以来の総利用者数が、五月三日に百四十万人を迎えました。

記念すべき百四十万人目のお客様は、千葉県船橋市からお越しの末崎様親子。末崎様親子は、約十五年以上毎月一回あゆみ荘で宿泊いただいております。末崎様には感謝状、花束、記念品が贈呈されました。

横浜あゆみ荘は、今後も多くの方にご利用いただけるよう努めてまいります。



140万人目の末崎様親子

◆和室の洋室化 改装工事が完了

多くのお客様からご要望のあった和室の洋室化について、この度改装工事が完了し、すでに四月七日よりご利用いただけるしております。これで洋室は三部屋となり、より利用しやすくなりました。皆様のお越しを職員一同お待ちしております。



新しい洋室

「よ」は障害者共同受注総合センター 受注センター わーくる通信

作業を発注した企業

と受注した事業所が、協力して新たに開発した商品について紹介する。

受注作業の拡大

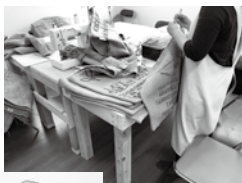
共和開発株式会社(緑区青砥町)は土や肥料などの園芸資材を販売している企業。以前から複数の障害者事業所へ園芸資材の袋詰め作業を依頼していた。

アルカヌエバ(緑区北八朔町)も、わーくるからの紹介で作業を受注した事業所の一つ。担当職員の幸地(こうち)さんは、「どのような作業を受ける時も、アルカヌエバとしての売上げを伸ばす工夫をしている」と語る。袋詰め作業では短時間で多くの個数を詰めるような器具を自作。資材に穴を空ける作業も、ドリルなどを工夫して新たな受注に繋がった。

新製品の開発

共和開発の前川さんは、他社との差別化のため、オリジナル商品としてコーヒード空袋を使った植木鉢用巾着袋の開発を検討していた。作業についていろいろ相談していたアルカヌエバに、幸地さんがあったので、幸地さんに依頼し、見本を作成することとなった。

前川さんは材料の柄を見せるように使うこと、鉢を安定させるための縫い方などを伝え、たほかは、実際の作り方はアルカヌエバに任せよう。アルカヌエバでは、材料をどのようにに裁断し、手間を簡



着用アル巾着袋の製作風景
植木鉢用とアル巾着袋の製作風景

単にして縫製するかなどを工夫した。実際に製品化される際には、ブランド力をつけるよう相談して作成した、「Studio Peaberry」のタグもつけることになった

(Peaberry: 収穫量の5%程の希少な珈琲豆)。巾着袋は会社のカタログにも掲載、順調に販売数を伸ばしている。アルカヌエバでは、さらなる売上増にも対応できるような体制を検討して、共和開発に貢献したいそうだ。



共和開発カタログの植木鉢用巾着袋が掲載されたページ

新たな受注依頼

巾着袋作成作業は新たに受注した事業所もあり、企業と事業所のコラボで開発した新商品の作業が広がりを見せている。